

摂南大学 後援会報

Supporters' bulletin of Setsunan University

3
2024



吉田智音さん(国際学科1年)
＜スポーツクライミング部＞
7月14日～15日に行われた「IFSCクライミングワールドカップ2023プリアンソン(フランス)」において、日本代表としてリード部門に出場し、世界3位となる。



近藤元さん(法律学科4年)＜男子陸上競技部＞
10月22日～28日に行われた「杭州アジアパラ競技大会(中国)」において、日本代表として「走り幅跳び」競技に出場し、大会記録を更新しての金メダルに輝く。



理事長表彰
12月21日、学長表彰とともに、吉田智音さん(左)、近藤元さん(右)が常翔学園理事長表彰を受賞。



ご卒業・ご修了おめでとうございます

摂南大学後援会会長
柴田 仁美

卒業生・修了生の保証人の皆さま、ご子息・ご息女のご卒業・ご修了誠にありがとうございます。後援会会員を代表して、一同、心よりお慶び申し上げます。また入学以来、後援会活動へのご支援、ご協力をいただき、改めて厚く御礼申し上げます。

この度、学び舎を巣立っていく卒業生・修了生の皆さんは、新型コロナウイルス感染症の影響により、入学当初はオンラインでの授業や、課外活動が制限されるなど、想定外の学生生活に大きな戸惑いを感じられたことと思います。そうした状況の中で、卒業・修了までにさまざまな壁を経験し、一つひとつ乗り越えてこられました。その過程で身に付けられた専門分野の知識や技術、変化に対応しチャレンジする強さ、そして人との出会いを通して育まれた絆は、きっと皆さんが今後より深く成長するための礎となることでしょう。

また、その道のりを傍で見守られてきた保証人の皆さまにおかれましては、卒業・修了を迎えられたご子息、ご息女の姿に深い感慨を抱かれるとともに、この日を迎えられたことへの喜びもひとしおのことと拝察いたします。

卒業生・修了生の皆さんは、実社会において、本学で学び身に付けた専門知識のみならず、課題解決に向けて培った人間力や実践的能力を活かし、多様な人々と協働して貢献されることと期待しています。

最後に、卒業生・修了生をご指導いただきました先生方ならびに、手厚くサポートいただきました職員の皆さまに深く感謝申し上げます。

摂南大学後援会は、今後もより一層大学との連携をより強固なものとするため取り組んでまいりますので、引き続き、後援会活動にご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

2023年度 学位記授与式



実施日：2024年3月25日(月)
場 所：摂南大学 寝屋川キャンパス
時間・集合場所は学部等によって異なります

詳細はこちらをご覧ください。



2024年度 入学宣誓式



日 程：2024年4月3日(水)
場 所：大阪城ホール
(大阪市中央区大阪城3番1号)

詳細はこちらをご覧ください。





摂南大学の進化と挑戦 — マインドは世界基準 —

摂南大学学長
久保 康之

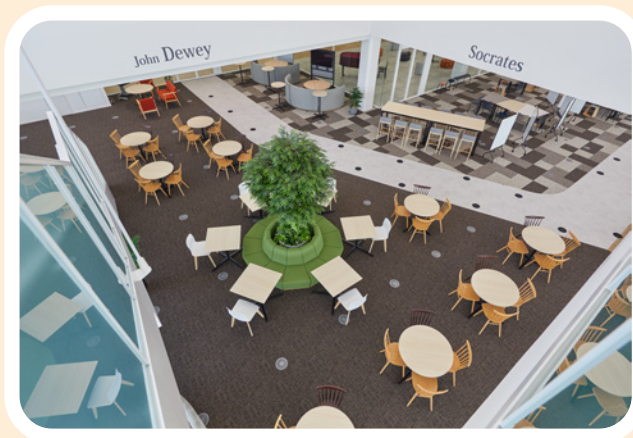
後援会の皆さまには、平素より本学の教育・研究、そしてさまざまな活動への理解とご支援、心より感謝いたします。本学は学校法人常翔学園の建学の精神に基づき、社会に貢献できる人材を育てることを目指し、1975年に開学しました。来年の2025年には、開学50周年の節目を迎えます。

私は2020年に摂南大学農学部で学部長として着任し、2023年11月に学長を拝命しました。摂南大学の素晴らしい教育環境と100年の歴史と伝統ある学園に奉職できることに大変な喜びを感じています。これまでの経験から、摂南大学は教員と職員が一体となり、大学の発展に向けて協力し合っていることが強みだと思います。特に学生を大切にする姿勢は誇りに思います。教員と職員が学生に寄り添い、心を配る態度は素晴らしく、教育懇談会などもそれを大切にしています。課外活動へのサポートも力を入れており、国際大会や全国の大会での学生の活躍が見られ、学生たちは切磋琢磨し合いながら成長しています。教育では、学生と教員が近い関係を築きながら、アクティブラーニングや課題

解決型学習を導入し、学生の成長を最優先に考えています。

現在、世界は大きな変化の中にあります。今年は昭和でいうと昭和99年であり、50歳以上の人が人口の半分を占めると言われています。昭和時代から引き継いできた価値観やシステムを超える変革が求められています。同時に、Z世代の若者たちはSNSを通じて世界に繋がり、AIが障壁を超えさせてくれる時代です。あらゆる価値観を世界基準で見る必要があります。教育と研究もマインドは世界基準です。摂南大学はこの時代の流れを把握しつつ、学生の個性を大切に、人間性豊かな人材を育てていきます。そのために必要な改革も進めていきます。

後援会は、教職員と保証人の皆さまが、ご子息・ご息女の学修状況、大学生活、就職活動に関する懇談や情報共有を行う機会などを設けていただいています。本学が大切にする学生第一の方針の一環であり、大変に重要な取り組みです。深く感謝を申し上げますとともに、引き続き、ご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



CONTENTS

- 2 後援会会長あいさつ
- 3 学長あいさつ
- 4 2024年度 後援会総会を開催
2024年度 教育懇談会のご案内
- 5 2023年度 秋期教育懇談会のご報告
- 6 学部 Information
- 8 SETSUDAI SPORTS DIGEST
- 9 奨学金
- 10 就職内定者 & 在学生 座談会

2024年度 後援会総会を開催

日 時 2024年5月25日(土) 16:00～(受付15:30～)

会 場 摂南大学 寝屋川キャンパス 311教室(3号館1階)

※4月中旬にご案内ハガキを郵送します。



2024年度 教育懇談会のご案内

摂南大学後援会では、その活動の一環として教育懇談会を春と秋の年2回開催しています。教育懇談会にご出席いただきますと、日頃の勉学・生活状況や就職・課外活動等について、日常指導いただいている先生方と個別にご懇談いただくことができます。

また、教育懇談会は、同じ大学・同じ学部・同じ学年に在籍している「保証人等同士の交流の場」としての側面も有しています。開催時に行っているアンケートにも「同じ学部・同じ年齢の子供を持つ親同士が、子供の生活状況や学業についての悩みを相談できて大変参考になった」との感想が多く寄せられています。ぜひ、ご参加ください。

参加された多くの保証人の方から高い満足度を頂いています

春 期

開催日	開催地	会 場	申込期限	対象学部
6月8日(土)	大阪	摂南大学 寝屋川キャンパス	5月15日(水)	理工学部 国際学部 外国語学部
		摂南大学 枚方キャンパス		経営学部 法学部 経済学部 現代社会学部 薬学部 看護学部 農学部

開催プログラム

学部(学科)の総括説明、個別懇談、就職講演、履修相談、学生相談、就職相談、カウンセラー相談

申込み・開催の詳細

本学ホームページ内の「摂南大学 教育懇談会特設サイト」より参加申込みや開催詳細をご確認いただけます。

摂南大学 教育懇談会特設サイト

<https://www.setsunan.ac.jp/family/news/detail.html?id=6186>



秋 期

(予定)

● 本学会場

開催日	開催地	会 場	実施内容
11月2日(土)	大阪	摂南大学 寝屋川キャンパス	● 個別懇談 成績および生活状況などについて、主指導担当教員と個別に懇談を行います。 ● 就職相談 就職部・枚方事務室就職係の職員が就職・進路について個別に相談を受け付けます。
		摂南大学 枚方キャンパス	

● 学外会場

開催日	開催地・会場	実施内容
11月16日(土) 30日(土)	京都・兵庫・広島・香川 4会場にて調整中	● 個別懇談 成績および生活状況などについて、主指導担当教員と個別に懇談を行います。 ※学外会場では、会場と本学をオンラインでつなぎ、ビデオ通話で本学教員と懇談いただきます。

学園祭
同時開催
寝屋川キャンパスのみ

※ 懇談会(秋期)の内容および開催日程等は8月末頃ご案内予定です。

2023年度 秋期教育懇談会のご報告

2023年度秋期教育懇談会(摂南大学後援会主催)を昨年10月から11月にかけて、本学会場、学外5会場で開催しました。学外会場では、会場と本学をオンラインでつなぎ、参加された皆さまにはビデオ通話で本学教員と懇談いただきました。

今後も教育懇談会を通じて保証人の方々と大学との架け橋となる活動を行ってまいります。



本学ホームページ 後援会サイト
<https://www.setsunan.ac.jp/family/kouenkai/>

開催場所/学部	理工	国際・外国語	経営	薬	法	経済	看護	農	現代社会	合計
本学会場	91人	15人	34人	81人	32人	31人	14人	52人	16人	366人
寝屋川キャンパス	91人	15人	34人	—	32人	31人	—	—	16人	219人
枚方キャンパス	—	—	—	81人	—	—	14人	52人	—	147人
学外会場	18人	5人	1人	8人	7人	9人	0人	5人	0人	53人
岡山会場	6人	0人	1人	1人	4人	2人	0人	1人	0人	15人
福岡会場	1人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	0人	3人
奈良会場	6人	2人	0人	2人	0人	2人	0人	2人	0人	14人
福井会場	0人	0人	0人	0人	0人	4人	0人	0人	0人	4人
堺会場	5人	3人	0人	3人	3人	1人	0人	2人	0人	17人
合計	109人	20人	35人	89人	39人	40人	14人	57人	16人	419人

寝屋川キャンパス

大学の様子を本人からあまり聞くことがないので、このような会があると、大学の色々なことが聞けありがたいです。学部の総括説明では授業の様子を知ることができました。個人懇談では単位の取り方など漠然としていたことが明確になりました。就活に向けて子どもとどう向き合うべきか分かったように思いました。



福岡会場

初めて参加しました。学外会場ということもあり、他学部に関する情報も聞く機会が持て、摂南大学への理解がより深まりました。個別懇談では教職員の方々とゆっくりと密に話を聞かせてもらいました。子どもがどんなことを学んでいるのか、どの程度単位を修得すれば進級できるのかなど気軽に相談できるよい機会でした。保証人の皆さんにはこの会にもっと参加いただければと思います。

岡山会場

今回で4回目の参加になります。毎回、個別懇談で子どもの日頃の様子を知ることができるのがこの懇談会の魅力でもあります。その他、就職状況や大学での生活なども、先生や職員の方々と直接話を聞くことができました。次回も是非参加したいです。



枚方キャンパス

ほぼ毎回参加しています。直接話を聞くなかで、教職員の方々と学生との距離が近いと実感しています。奨学金について親身になってアドバイスしていただいたり、就活の状況についてどのような支援をされているかなど丁寧に教えていただいたりしました。また学部の学びの内容や就職に向けてどのようなサポートをされているかなどの説明も聞けてよかったです。



保証人の皆さまからのご感想

参加された保証人の皆さまからの寄稿の一部を紹介します



奈良会場

初めて参加しました。大学について分からないことがあったので、教職員の方々と直接話を聞くことができよかったです。大学にちゃんと行っているか心配だったので出欠状況を確認でき安心しました。その他、大学生活を問題なく送っているか、就職活動はいつから始めるべきかなど、細かいことも聞けてよかったです。

福井会場

福井でも開催していただけてうれしかったです。本人から聞けない大学生活を知ることができ充実した懇談会でした。福井会場は参加者が少なかったのですが、子どもの成績や就職活動など色々な話をじっくり聞くことができ満足しています。



堺会場

自宅近くで開催していただいたので参加しました。2回目の参加です。子どもはまだ1年生ですが就職に向けて今から何をすればいいのか、どんな資格を取得したら就職に有利のかなど、就職担当の職員の方に直接聞くことができ、就活に関する不安を解消することができました。また、他の参加の方々と話すきっかけにもなったので参加してよかったです。

// 学部 Information //

国際学部 (外国語学部)

高山帯の生態系の変化

ケニア山の氷河縮小と生態系の変化

- ・水野・中村 (1999) では氷河の割れ目から約900年前のヒヨウの遺体を発見 (右図)。
- ・約900年前は世界的に温暖であった時代から寒冷期に移行する時期。温暖期に生息していたヒヨウがクレバスに落下し、その後、氷の中に保存され20世紀の温暖化で氷河が後退することにより再び姿を現したと考えられる。



Tyndal氷河の融解地点から発見されたヒヨウの遺体 (水野・中村撮影)。



2022年に撮影されたヒヨウの遺体→

昨年10月7日、「第7回国際文化セミナー」を開催しました。2022年度に開設した本学部の学びと教員の研究活動を学内外に紹介するもので、「**地理学の可能性～フィールドワークからのアプローチ～**」をテーマに、本学部講師が自然地理学と人文地理学における研究を解説。大谷侑也講師が「気候変動とアフリカー『熱帯の水河』に焦点を当てて」、小林基特任講師が「人が生きる空間、場所、世界ー市民活動拠点とのかかわりから考えるー」と題し講演を行いました。

経済学部



昨年12月11日、特別講演会「**欧州議会がやってくる!!**」を実施。これは欧州議会が同議会議員・元議員を各国の大学に派遣し、EUの政策を説明するプログラムの一環で、今回はハンガリー出身の同議会元議員のエディット・ヘル

ツォーク氏の講演をオンラインで行いました。130人近い学生が聴講し、**EUエネルギー規制機関間協力庁の運営委員会副議長として戦略立案に携わる同氏の講演に、緊迫するエネルギー情勢への認識を新たに、大いに刺激を受けました。**

経営学部



昨年10月7日、関西大学千里山キャンパス BIGホール100で行われた「**第18回関西大学ビジネスプラン・コンペティション KUBIC 2023**」で、塚田義典准教授ゼミの長谷川慎さん(経営学科3年)の「**フードロス・コネクト**」が**センコー賞(テーマ部門)**を受賞しました。アプリで近隣スーパーのお買い得商品をユーザーに伝え、決済・取り置きができるもので、食品廃棄量削減や製造計画の効率化に貢献。長谷川さんは「今後の活動への大きな自信になりました」と喜びを語りました。

理工学部



昨年11月4日夕刻から5日深夜にかけて、「**天若湖アートプロジェクト2023『あかりがつなぐ記憶』**」を開催しました。2005年より続く取り組みで、現在は都市環境工学科の石田裕子教授研究室、PBLプロジェクト「**寝屋川市における環境学習支援と淀川水系を中心とした流域連携プロジェクト**」、エコビル部の学生らが企画・実施。日吉ダム建設により生まれた天若湖の湖面にかつての集落のあかりを再現し、流域市民とダムの恩恵への理解を共にする機会を創出しました。

薬学部



昨年11月12日、本校枚方キャンパスで「**摂南大学薬学部創立40周年記念行事**」を開催。全国から350人を超える卒業生や関係者が集い、旧交を温めました。『アンサンングシンデレラ 病院薬剤師 葵みどり』の医療原案者である、焼津市立総合病院薬剤部の富野浩充先生による講演と薬学部の卒業生8名とのパネルディスカッション、枚方キャンパスのレストラン「結」での懇親会やキャンパスツアーなどを通じて、世代を超えた貴重な交流の場になりました。

看護学部



昨年12月2日、看護学研究科が公開講座「**患者・家族・医療者が協働する『新しい療養文化』の創出に向けて**」を開催。神経難病患者の在宅療養が増えている状況を受け実施したもので、同研究科の森谷利香教授が「神経難病を持つ人々への研究から見えた看護実践への示唆」を、現代社会学部の榎田美雄教授が「ALS患者の在宅療養現場からの社会学的考察」をテーマに講演。参加者からは、「現代の在宅医療のあるべき姿についての学びにつながった」などの声が挙がりました。

農学部



昨年12月2日、ニッペパーク岡東中央(枚方市)で開催された「**第41回枚方市農業まつり**」で、**エディブルフラワーの手作りお菓子の限定配布とIoTを使ったエディブルフラワー栽培キットの展示**を行いました。食品栄養学科の栄養教育研究室(今城安喜子講師)は、大阪工業大学情報科学部の「ソーシャルオープンイノベーションチャレンジ」で、同大のサイバーヒューマン研究室(榎原茂准教授)と連携。担当するエディブルフラワー特産化に向けたレシピ開発の成果を発信する有意義な機会となりました。

法学部



昨年9月4日、**島田良一准教授のゼミが大阪地方検察庁を訪問**しました。島田ゼミでは、検察事務官として数々の刑事事件に携わってきた島田准教授のもと、刑事手続に関する諸問題を研究しています。当日学生たちは取調室を見学し、検察官や検察事務官から業務の説明を受ける中で、リーガルマインドを培う貴重なきっかけを得ていました。

現代社会学部



FAL 演習では「夜間中学における社会的マイノリティの学びの支援」プロジェクトを展開。概ね毎週月曜日に守口市立さつき学園夜間学級を訪問しています。夜間中学は義務教育未修者や基礎学力に課題を抱える在日外国人、不登校経験者などの学びの場として注目されており、学生たちは授業に参加し、毎回熱心にサポートを行っています。

SETSUDAI SPORTS DIGEST

スポーツクライミング部 吉田智音さん(国際学科1年) 小林舞さん(食品栄養学科1年) かごしま国体で 決勝に進出



10月8日～10日の「燃ゆる感動かごしま国体」のスポーツクライミング競技に、吉田智音さん(国際学科1年)と小林舞さん(食品栄養学科1年)が出場し、2人揃って決勝に進出。吉田さんはボルダリング3位・リード3位の好成績を収め、小林さんもボルダリング8位・リード7位と健闘しました。



男女陸上競技部 全国招待大学対校 男女混合駅伝に出場

2月18日、男女陸上競技部の長距離パートのメンバーが「全国招待大学対校男女混合駅伝」に初めて出場しました。

今回で第4回となるこの大会は、本学に女子陸上競技部が出来たことでエントリーが可能になり、さらに関西圏の大学のうち、参加選手の持ちタイムの総合評価が上位10位以内となったことで出場権を得ました。

本学チームは、関東・関西の強豪大学とともに力走し、来年に繋がる力強い走りを見せてくれました。



剣道部が、11月5日の「第71回全日本学生剣道優勝大会」でベスト16に進出。(上)少林寺拳法部は、同日行われた「第57回少林寺拳法全日本学生大会」の男子重量級部門に、稲塚悠二さん(法律学科4年)が出場し、2位の快拳を成し遂げました。(左)さらに上位をめざし努力を続けると語る両部の今後の活躍がますます期待されます！

剣道部 全国大会ベスト16進出! 少林寺拳法部 全日本学生大会 第2位の快拳!

ラグビー部 W杯日本代表の卒業生 ジョネ・ナイカブラ選手 が来校

10月18日、2017年度卒業生で、現在は東芝ブレイブルーパス東京に所属し、「ラグビーワールドカップ2023フランス大会」に日本代表として出場したジョネ・ナイカブラ選手が、本学を訪問。

恩師の河瀬泰治ラグビー部総監督と記者発表会に登壇し、「摂南大学で、目標を立てて諦めずに続けることを学んだ」とコメントしました。



男子陸上競技部

近藤元さん(法律学科4年)が 大阪府・吉村知事を表敬訪問

12月13日、近藤元さん(法律学科4年)が大阪府・吉村洋文知事を表敬訪問しました。近藤さんは、10月に中国・杭州市で開かれた「杭州2022アジアパラ競技大会」の陸上男子走り幅跳び(義足・機能障害T63)で、大会新記録6メートル16を跳び、金メダルを獲得。大会での経験や喜びと今後の意気込みを報告し、吉村知事からお祝いと激励の言葉をいただきました。



吹奏楽部

恒例の定期演奏会を開催

12月24日、吹奏楽部が寝屋川市民会館で毎年恒例の定期演奏会を開催。心のこもった演奏を披露しました。この演奏会をもって卒部する4年生に、久保康之学長からもお祝いのお言葉がありました。今後も、吹奏楽部の学内演奏や地域からの依頼演奏などでの活躍が楽しみです！



奨学金

■出願書類配付日程

	奨学金の種類	対象学部・研究科	日時	場所
学部	日本学生支援機構(貸与)奨学金 高等教育の修学支援制度 (日本学生支援機構(給付)奨学金・授業料等減免)	全学部	4月4日(木)~26日(金) 9:00~17:00	寝屋川キャンパス 学生課(2号館2階) 枚方キャンパス 枚方事務室1(1号館1階)
		理工学研究科・経済経営学研究科・ 法学研究科・国際言語文化研究科	4月4日(木) 16:00~16:30	寝屋川キャンパス 多目的室(2号館2階)
大学院	日本学生支援機構(貸与)奨学金	薬学研究科・看護学研究科・ 農学研究科	4月4日(木) 15:30~16:00	枚方キャンパス 8206教室(8号館2階)

- 上記の奨学金を希望する学生は、上記日時に書類を受け取りに来てください。学部生の出願方法の詳細は動画配信(3月下旬に学生用ポータルサイトで通知予定)します。
 - 学業奨励スカラシップ(給付制・学部2年以上対象)について、8月頃、対象者に学生用ポータルサイトで通知予定です。
 - 大学院院内奨学金(給付制・大学院全年度対象)の募集については、4月下旬に学生用ポータルサイトで通知予定です。
- 注1: 高等教育の修学支援制度を希望する学生は、事前に日本学生支援機構ホームページ内の「進学資金シミュレーター」(https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp)の「保護者の方向け」のシミュレーションを行ってください。
- 注2: 奨学金に関する連絡は学生用ポータルサイトにより行います。見落としなどは各自の責任になりますので、毎日確認するよう習慣づけてください。
- 奨学金出願書類配付日程を変更する場合も学生用ポータルサイトにより行います。
- 注3: 貸与奨学金は卒業後返還が必要です。給付奨学金であっても成績不振・大学処分を受けた場合は、返還が必要になることがあります。

日本学生支援機構
進学資金シミュレーター



就職内定者& 在学生 座談会

就職
部



理工学部 生命科学科 4年
竹本 芽生さん
日東分析センター 内定



農学部 食農ビジネス学科 4年
山本 基喜さん
大阪市(行政職) 内定



法学部 法律学科 4年
海田 希実花さん
大阪地方検察庁 内定

就活成功の秘訣とは？

後輩の質問に3人の内定学生が答える座談会を行いました

目標や価値観を確立し就活を始めた3人の学生。さまざまな情報やサポートを賢く活用し、内定を勝ち取りました。就活の参考に、ぜひご一読ください。

平山 どのような方向性で就活をされたのですか？

竹本 生命科学科の学びを活かして技術系の仕事がしたいと考え、メーカーの品質管理や分析の職種を中心に探していきました。活動する中で営業職など他の職種への異動がない、分析を専門に行う企業に絞っていきました。

山本 農学部で学びで植物への興味が高まっていたところ、授業でさまざまな業界の方の話を聞く機会があり、公務員として植物に関わる仕事を知りました。地域密着で土日が休めることも重視していたので、早期から民間企業のインターンシップに参加しながら、大阪役所の技術職「造園」を志望していました。

海田 私は公務員一本でした。高校生の頃から法律に興味があり、将来は検察事務官を目指していたので、大阪地方検察庁を第一志望として、他の公務員の選考も受けました。

山田 インターンシップや説明会の経験を教えてください。

竹本 3年次の夏からインターンシップに参加しました。グループワークを経験し、私より知識や分析経験が豊富な大学院生の方が多く、初めはとまどうこともありましたが、まわりのメンバーに質問したり書記をしたりとまとめ役を務めました。結果的にそれが評価につながったのかなと思います。

山本 ある企業の早期インターンシップに参加したのですが、将来そこで働く自分の姿が想像しづらく、選考には進みませんでした。でも、進みたい道を見つめ直し、他の学生からも刺激を受ける良い機会となりました。インターンシップは絶対参加すべきだと思いますよ。

海田 大阪地方検察庁の説明会で、検察事務官の具体的な仕事内容や意義を聞き、「社会正義を実現し社会の安定を守る」という使命への理解が深まりました。自身の志望動機を掘り下げることができ、面接でも活かされたと思います。



平山 支えになったことはありますか？

海田 学内の資格サポートセンターの公務員講座は、目指す分野や職種に応じた内容で、随時質問もできてとても役立ちました。また、さまざまな科目の先生が対応してくださるラーニングセンターでも数学など度々教えてもらい、すごくお世話になりましたね。

山本 公務員の場合、求められる人物像に民間企業とは異なる面があるので、面接の内容も違いました。組織の中で自分がどう振る舞うかを問われる質問もありました。

海田 そうそう。どんな状況でも、国民に対して公平で冷静かつ親身に対応できる力が求められますね。その辺りは私も知らないことが多く、学内で就活支援としていただくアドバイスがとてもありがたかったです。

山本 私も、学内の就活サポートに関しては、3年次の秋に電話をいただき、進路希望や就活状況の確認に加えて、面談の日程まで調整していただき、すごく相談しにいきやすかったです。実は、もともと母から「摂南大学は就職率がよく、就職のサポートも充実している」と聞いていたのですが、大いに納得しました。



竹本 私は早期インターンシップ参加に始まり、複数企業の選考、内定とスピーディに決まったので、短期集中で頑張った就活でした。そのため、エントリーシートを一度にいくつも添削していただいたり、面接の受け答えを具体的に指導いただいたりと、短期間に密度濃くサポートを受けました。

山田 最後に、就活のアドバイスをお願いします！

海田 公務員志望の方へのアドバイスとして、試験勉強は範囲が広いので、効率を重視すると良いと思います。過去問で出題の形式や傾向を把握し、出題されやすい単元から集中して勉強することをおすすめします。

竹本 学内のキャリア教育などで、早くから将来を意識することはとても大切だけど、学科での学びに力を入れて、きちんと単位を取っておくことも大事です！その方がしっかり就活に集中できますよ。

山本 そうですね、特別な活動をしないといけないわけではなく、授業など普段の活動でも「どういう経験として話せるか」を低年次から意識していると、就活で「ガクチカ」として生きてきます。「授業などで忙しいけど何かしたい」という人には学内イベントスタッフの活動もおすすめです。開催日は授業がないことが多くて参加しやすいし、グループでの活動は将来にも役立ちます！

さらに
詳しく

ここで紹介しきれなかった
座談会全文を公開中！



座談会を終えた在学生から一言



経済学部 経済学科 3年
平山 史幸 さん

早期から公務員試験対策や企業のインターンシップ参加などに取り組む中で、方向性を絞り込み、希望の就職を実現されたことが分かりました。公務員試験の勉強方法もとても参考になりました。



農学部 農業生産学科 2年
山田 悠菜 さん

みなさん躊躇なく答えてくださって、話しぶりにも内容にも説得力がありました。納得いく就活だったからこそなんだなと実感しました。私も農学部での学びを充実させて、就活に臨みたいと思います。

2年生から始める就活

摂大CHP (キャリア・オーナーズプログラム) がスタート

「摂大CHP (キャリア・オーナーズプログラム)」は、早期化する企業の採用活動に対応するために、就活に意欲が高く、早くから準備に取り掛かりたいと思う学部2年生を応援するキャリア支援プログラムです。2年後期の「入門編」と3年前期の「応用編」で構成し、学年をまたいで実践力を養います。選考書類の書き方や面接対策とともに、「話す力」と「聴く力」を実践して対話力や傾聴力などの対人能力を高めます。

「就活の準備は早くから始めるほうが安心」「会話の苦手を克服したい」「面接で自分の意志を伝えたい」と参加者たちは少し背伸びしたやる気を見せます。



社会人に必要な能力を準備～多彩な講演会～

1. 話す力と聴く力

社会人として最も重要な「話す力」をつけようと野嶋紗己子毎日放送アナウンサー (講演会当時) を講師に招いた「摂大CHP」の特別講演会が9月29日に開かれ、約140名の学生と大学院生、教職員が聴講しました。

テーマは「話す力」と「聴く力」。野嶋アナは、「話すことよりも、聞くことの方がもっと大事。就活では聞き上手になることが重要」と話し、自身が失敗から学んだ面接の乗り越え方やコミュニケーション力アップのアイデアなどを披露してくれました。参加者は「目指す方向の捉え方が聞けた」「目標を見失わない大切さを実感できた」など、たくさんの「力」をもらいました。



2. 新聞の読み方



11月10日には、読売新聞大阪本社「新聞のちから」講師の瀧上和世氏を招き、効率的な新聞の読み方を学び、論理的な文章を身につけるトレーニングを体験しました。「新聞のトリセツ」を聞いた学生たちは、「見出しだけ読んでみよう」と新聞を広げて、情報をチェックしました。たくさんのニュースの中から興味を持った記事を選び、簡潔にまとめてコメントするワークにも挑戦しました。

編集後記

後援会報3月号は、楽しく読んでいただけましたでしょうか？
10頁・11頁に掲載の「就職内定者&在学生座談会」は、より
くわしい内容を後援会HPにて公開中です。ぜひご覧になって
みてください。(摂南大学後援会事務局)

座談会全文を
公開中！



～摂南大学は2025年に創立50周年を迎えます～

Smart and Human
摂南大学

■法学部 ■国際学部 (外国語学部) ■経済学部
■経営学部 ■理工学部 ■薬学部 ■看護学部
■農学部 ■現代社会学部 ●大学院